公益財団法人　上廣倫理財団

公益財団法人　角川文化振興財団　助成事業

第25回

俳句甲子園

（全国高等学校俳句選手権大会）

実施報告書

主催：NPO法人俳句甲子園実行委員会　　共催：松山市、愛媛県

後援：文部科学省、（公社）全国高等学校文化連盟　ほか

【大会最優秀句・文部科学大臣賞】

草いきれ吸って私は鬼の裔



高校生にしか語れない俳句がある





＜俳句甲子園の目的＞

全国各地から俳句という文学を介して高校生たちが松山に集い、日本語を操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的としています。

＜開催趣旨＞

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。Ｐ．ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は５００万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる法楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生させた正岡子規をはじめとして、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られた俳人を輩出した伝統的風土があります。

俳句は、現代を生きる人々の心を＜五・七・五＞という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一堂に参集し、俳句を楽しみ、交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句に相応しく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように＜俳句甲子園＞は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

（1997年当時作成）

＜大会運営＞

大会の運営はＮＰＯ法人を中心としながら、大会を卒業したＯＢＯＧや市民で構成される１５０名以上のボランティア、地元松山市の職員が連携しながら実施します。また文部科学省や、全国高等学校文化連盟などの後援もいただき、高校生の良き学びの場、新たな交流や成長の場となるよう配慮した運営をしています。

＜大会スケジュール＞

６月に地方大会、８月に全国大会を行います。参加可能な地方大会会場が近くに無い場合等は投句審査（句のみの書類選考）にてエントリーする事も可能です。

＜25回大会日程＞

２月７日…「大会募集要項」「開催要綱」発表
４月５日…地方大会兼題　発表
５月１１日…エントリー締め切り
６月１１日～１９日…地方大会
（全国１３都市１７会場）
６月２３日…全国大会出場チーム　発表
８月１９日～２１日…全国大会

◆大会１日目
組合せ抽選会、敗者復活戦席題発表・提出

◆大会２日目
開会式、予選リーグ、予選トーナメント

◆大会３日目
敗者復活戦、決勝リーグ、決勝、表彰式

＜兼題＞

◆地方大会
「霞」「風船」「シクラメン」「朝寝」

◆全国大会
予選リーグ第１・２試合「七月」
予選リーグ第３・４試合「日傘」
予選リーグ第５・６試合「蚊」
予選トーナメント「草いきれ」
敗者復活戦「麦茶」
決勝リーグ第１試合「竜淵に潜む」
決勝リーグ第２試合「良夜」
決勝リーグ第３試合「秋刀魚」
決勝戦「十」

＜審査員長＞

高野　ムツオ（小熊座主宰）／西村　和子（知音代表）／中原　道夫（銀化主宰）／星野高士（玉藻主宰）／小澤　實（澤主宰）／夏井いつき（いつき組組長）／髙田　正子（藍生）／岸本　尚毅（天為、秀）／如月　真菜（童子副主宰）／阪西　敦子（ホトトギス、円虹）／村上鞆彦（南風主宰）／西村　麒麟（古志）／神野紗希（現代俳句協会副幹事長）

＜組合せ抽選会＞

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年のウェルカムパーティは行わず、代表者１名と引率者が参加する組合せ抽選会を行いました。抽選会の様子は、YouTubeでライブ配信し、選手はそれぞれの宿泊先から見守りました。抽選会後は敗者復活戦の席題「麦茶」が発表され、俳句を提出しました。戦いはもう始まっています。





＜エントリーチーム＞

３０都道府県１０１チームからのエントリーがあり、１８都道府県３２チームが全国大会へ出場しました(うち６チームが全国大会初出場)。(★は地方大会優勝による全国大会出場チーム、◎は投句審査による全国大会出場チーム)

都道府県名	チーム名	エントリー回数	参加区分・会場
北海道	北海道札幌西高等学校	4	地方大会・札幌会場
	北海道小樽潮陵高等学校	9	地方大会・札幌会場
	北海道旭川東高等学校A ★	20	地方大会・札幌会場
	北海道旭川東高等学校B	20	地方大会・札幌会場
	旭川実業高等学校A	初	地方大会・札幌会場
	旭川実業高等学校B ◎	初	地方大会・札幌会場
青森県	弘前学院聖愛高等学校	16	投句
	青森県立八戸高等学校	3	地方大会・仙台会場
	青森県立弘前高等学校 ◎	8	投句
岩手県	岩手県立水沢高等学校 ★	18	地方大会・北上会場
	岩手県立花巻北高等学校A	2	地方大会・北上会場
	岩手県立花巻北高等学校B	2	地方大会・北上会場
	岩手県立盛岡第一高等学校	11	地方大会・北上会場
宮城県	仙台市立仙台高等学校	2	投句
	宮城県名取高等学校A	初	地方大会・仙台会場
	宮城県名取高等学校B	初	投句
	宮城県小牛田農林高等学校	13	地方大会・仙台会場
秋田県	秋田県立秋田北高等学校	4	地方大会・仙台会場
山形県	山形県立山形南高等学校A	6	地方大会・仙台会場
	山形県立山形南高等学校B	6	地方大会・仙台会場
	山形県立山形南高等学校C	6	投句
	山形県立山形南高等学校D	6	投句
	山形県立山形東高等学校 ★	初	地方大会・仙台会場
	山形県立山形西高等学校	5	地方大会・仙台会場
福島県	福島県立須賀川桐陽高等学校	4	投句
	福島県立須賀川創英館高等学校	初	投句
	福島県立磐城高等学校A ★	9	地方大会・仙台会場
	福島県立磐城高等学校B	9	地方大会・仙台会場
茨城県	茨城県立結城第二高等学校	11	地方大会・前橋会場
栃木県	栃木県立宇都宮中央女子・中央高等学校 (※) ★	2	地方大会・前橋会場
群馬県	群馬県立高崎高等学校 ★	5	地方大会・前橋会場
	高崎商科大学附属高等学校	7	地方大会・前橋会場
埼玉県	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	2	投句
	盈進学園 東野高等学校	8	投句
	星野高等学校A	6	地方大会・前橋会場
	星野高等学校B	6	地方大会・前橋会場
	星野高等学校C	6	投句
東京都	海城高等学校A ◎	9	地方大会・東京会場
	海城高等学校B ◎	9	地方大会・東京会場
	海城高等学校C	9	投句
	開成高等学校 ★	22	地方大会・東京会場
	立教池袋高等学校A ◎	12	地方大会・東京会場
	立教池袋高等学校B	12	地方大会・東京会場
	都立豊多摩高等学校	初	投句
神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	9	地方大会・横浜会場
	神奈川県立横浜翠嵐高等学校 ★	6	地方大会・横浜会場
	慶應義塾湘南藤沢高等部A	10	地方大会・横浜会場
	慶應義塾湘南藤沢高等部B ◎	10	地方大会・横浜会場
石川県	石川県立金沢泉丘高等学校 ◎	11	投句
	石川県立金沢錦丘高等学校	8	投句

(※栃木県立宇都宮中央女子・中央高等学校について、表記上、略称の使用を許可いただいています。
学校合同チームではありません。)

長野県	長野県長野西高等学校	2	投句
	長野県屋代高等学校	9	地方大会･前橋会場
岐阜県	岐阜県立飛騨神岡高等学校	17	地方大会･大垣会場
	鶯谷高等学校 ★	3	地方大会･大垣会場
	大垣日本大学高等学校A	3	地方大会･大垣会場
	大垣日本大学高等学校B	3	地方大会･大垣会場
愛知県	愛知県立幸田高等学校A	21	地方大会･名古屋会場
	愛知県立幸田高等学校B ◎	21	地方大会･名古屋会場
	名古屋高等学校A ★	11	地方大会･名古屋会場
	名古屋高等学校B ◎	11	地方大会･名古屋会場
	桜花学園高等学校A ★	初	地方大会･名古屋会場
	桜花学園高等学校B	初	地方大会･名古屋会場
	愛知県立豊橋西高等学校 ◎	6	地方大会･名古屋会場
三重県	高田高等学校	20	地方大会･大垣会場
滋賀県	立命館守山高等学校	初	投句
	近江兄弟社高等学校	5	地方大会･大阪会場
京都府	洛南高等学校 ★	20	地方大会･大阪会場
大阪府	大阪桐蔭中学高等学校	7	地方大会･大阪会場
兵庫県	灘高等学校	8	地方大会･大阪会場
	兵庫県立伊丹高等学校A	2	投句
	兵庫県立伊丹高等学校B	2	投句
	兵庫県立武庫荘総合高等学校	初	地方大会･大阪会場
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	7	地方大会･和歌山会場
	和歌山県立海南高等学校A	4	地方大会･和歌山会場
	和歌山県立海南高等学校B	4	地方大会･和歌山会場
	智辯学園和歌山高等学校 ★	4	地方大会･和歌山会場
島根県	島根県立平田高等学校A	8	投句
	島根県立平田高等学校B	8	投句
岡山県	岡山県立新見高等学校	4	投句
	岡山県立岡山朝日高等学校 ◎	12	地方大会･大阪会場
山口県	山口県立徳山高等学校A ★	9	地方大会･防府会場
	山口県立徳山高等学校B ◎	9	地方大会･防府会場
	山口県立萩高等学校	5	地方大会･防府会場
	山口県立高森高等学校A	5	地方大会･防府会場
	山口県立高森高等学校B	5	地方大会･防府会場
	山口県立光高等学校	2	地方大会･防府会場
	山口県立防府高等学校	2	投句
愛媛県	愛媛県立新居浜西高等学校	11	地方大会･松山会場
	愛媛県立松山西中等教育学校	14	地方大会･松山会場
	愛媛県立松山東高等学校 ★	24	地方大会･松山会場
	新田青雲中等教育学校 ◎	10	地方大会･松山会場
	愛媛県立宇和島東高等学校	20	投句
	愛媛県立今治西高等学校伯方分校A ★	23	地方大会･松山会場
	愛媛県立今治西高等学校伯方分校B	23	地方大会･松山会場
	愛媛県立今治西高等学校 ◎	17	地方大会･松山会場
	済美平成中等教育学校	18	地方大会･松山会場
福岡県	福岡県立八女高等学校	3	地方大会･福岡会場
熊本県	熊本信愛女学院高等学校A	22	地方大会･福岡会場
	熊本信愛女学院高等学校B	22	地方大会･福岡会場
沖縄県	興南高等学校A ◎	7	地方大会･福岡会場
	興南高等学校B ★	7	地方大会･福岡会場

全国大会



旭川実業高等学校
（北海道）



北海道旭川東高等学校
（北海道）



青森県立弘前高等学校
（青森県）



岩手県立水沢高等学校
（岩手県）



海城高等学校A
（東京都）



海城高等学校B
（東京都）



開成高等学校
（東京都）



立教池袋高等学校
（東京都）



愛知県立豊橋西高等学校
（愛知県）



桜花学園高等学校
（愛知県）



名古屋高等学校A
（愛知県）



名古屋高等学校B
（愛知県）



山口県立徳山高等学校A
（山口県）



山口県立徳山高等学校B
（山口県）



愛媛県立今治西高等学校
（愛媛県）



愛媛県立今治西高等学校
伯方分校（愛媛県）





出場チーム一覧



山形県立山形東高等学校
（山形県）



福島県立磐城高等学校
（福島県）



栃木県立宇都宮中央女子・
中央高等学校 （栃木県）



群馬県立高崎高等学校
（群馬県）



神奈川県立横浜翠嵐高等学校
（神奈川県）



慶應義塾湘南藤沢高等部
（神奈川県）



石川県立金沢泉丘高等学校
（石川県）



愛知県立幸田高等学校
（愛知県）



鶯谷高等学校
（岐阜県）



洛南高等学校
（京都府）



智辯学園和歌山高等学校
（和歌山県）



岡山県立岡山朝日高等学校
（岡山県）



愛媛県立松山東高等学校
（愛媛県）



新田青雲中等教育学校
（愛媛県）



興南高等学校A
（沖縄県）



興南高等学校B
（沖縄県）

OBOG会

俳句甲子園経験者の有志によりＯＢＯＧ会が結成され、俳句甲子園を支えてくれています。地方大会や全国大会は、大勢のＯＢＯＧのボランティアスタッフが運営に携わり、この報告書にも彼らが撮影した写真が多く使われています。

毎年多くのＯＢＯＧが「俳句甲子園をもっと盛り上げていこう」、「俳句甲子園に恩返しを」など、様々な想いで応援してくれています。



予選リーグ、予選トーナメント













＜予選リーグ、予選トーナメント＞

約４８０ｍの大街道商店街アーケードに８の特設ブロック会場が設けられます。参加３２チームが１ブロック４チームに分かれ、決勝リーグ進出をかけ火花を散らせます。

相手の俳句のポイントを的確に見抜き、鑑賞し、質問する言葉の応酬。言葉と言葉の真剣勝負に道行く人は思わず魅了され、立ち止まります。審査員の旗が上がり勝敗が決まるたびに、会場では拍手や歓声があがります。

＜評価の基準＞

◆作品点（１０点満点）

各審査員が、提出句ごとに１０点満点で俳句の創作力を総合的に評価します。









◆鑑賞点（２点以内）

各審査員が、対戦ごとに質疑応答を審査して、各チームの総合鑑賞力を評価し、鑑賞力の上まわるチームにのみ２点以内の点数を付与します。

◆合計ポイントが同じ場合

原則として、作品点の高いチームの勝利となります。但し、同点でかつ、減点がある場合は、減点のない又は減点数の少ないチームの勝利となります。

＜競技の際の注意点＞

◆相互の鑑賞力を促進する為、対象句側のチームによる句の自発的な解説は認めません。

◆お互いに俳句という文学的フィールドの中で、協議対象句に対する個々の見識・感受性・創造力を競い合うことを目的とする対戦であり、決して作品・個人に対する中傷誹謗の場ではありません。

敗者復活戦・決勝リーグ













＜敗者復活戦＞

組合せ抽選会終了後に発表された席題で、定められた時間内に、チームで１句創作し、事前に審査員長１３名が作品点上位５チームを選出します。ここに、１日目の予選トーナメントで敗れた４チームが加わり、計９チームが敗者復活戦に臨みます。敗者復活戦は各チーム代表者２名が登壇、句を披露、審査員長との質疑応答（１分）を行います。作品点と鑑賞点の合計で上位２チームを選出します。

今大会の席題は夏の季語である「麦茶」で、「頂へ伸びる鎖よ麦湯飲む」の愛媛県立今治西高等学校が１位、「太陽は青空の栓麦茶飲む」の名古屋高等学校Bが２位となり、決勝リーグへと駒を進めました。

決勝戦・表彰式







＜決勝リーグ・決勝＞

松山市総合コミュニティセンターでは、大型モニターによるパブリックビューイングが行われ、試合会場の外まで俳句甲子園の熱気に包まれます。

予選トーナメントを勝ち進んだ愛知県立幸田高等学校、海城高等学校A、開成高等学校、山形県立山形東高等学校と、敗者復活戦を勝ち抜いた愛媛県立今治西高等学校、名古屋高等学校Bの６チームがぶつかります。決勝リーグは「竜淵に潜む」「良夜」「秋刀魚」を兼題として、Ａブロック、Ｂブロックに分かれて、３校ずつが熱戦を繰り広げました。それぞれのブロックで勝ち抜いた開成高等学校と海城高等学校Aが決勝戦に進みます。

「十」を兼題に戦った決勝は、開成高等学校が３－１で海城高等学校Aを下し、大会３連覇を成し遂げました。

＜大会結果＞

優勝：開成高等学校（東京都）

準優勝：海城高等学校A（東京都）

3位（決勝リーグ進出チーム）

愛知県立幸田高等学校（愛知県）

名古屋高等学校B（愛知県）

愛媛県立今治西高等学校（愛媛県）

山形県立山形東高等学校（山形県）

＜フェアウェル交流会＞

今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためフェアウェル交流会は、飲食無し、短時間での実施となりました。決勝リーグの会場でもあった松山市総合コミュニティセンターの大会議室で開催。熱戦を終えた選手たちを、ＯＢＯＧが趣向を凝らした演出でもてなします。２日前は優勝を争うライバルだった他校の選手たちが、すっかり戦友になっています。

また、ＯＢＯＧたちとも交流を深め、これからの俳句活動についても考えを深める光景も見られました。

＜審査員長評（抜粋）＞

中原　道夫　先生

今回、初めて出場した方ばかりかと思います。長丁場お疲れ様でした。

俳句というのは一種類ではなく、現代俳句の中で分派しており、審査の傾向を見ていても、こういう句を作ってもいいんだと思われると思います。それが皆さんの伸びしろになって、小さく固まらないでほしいです。

早く感染症が収束して、俳句甲子園に一回も出ずに生徒の皆さんが卒業してしまうことがないようにと願っています。皆さんも健康に注意して、自分の伸びしろや可能性を信じて、また来年、再来年も元気な顔を見せていただきたいと思います。

今大会の全１２８０句を見た中で、新しい傾向の句や、最近の言葉が沢山出てきました。言葉というのは生活に則して生きており、俳句はそこから汲み上げるものです。私たちも必死でついていこうと思います。

個人最優秀賞は「文部科学大臣賞」



草いきれ吸って私は鬼の裔

＜審査員長講評（抜粋）＞

高野　ムツオ　先生

鬼のイメージは様々あり、虐げられるもの、災難や厄病を防ぐ存在といった意味もあります。古代から繋がる血筋の元に生まれた人間として、頑張って生きていこうという思いを草から授かった、自然の生命力の素晴らしさを詠った俳句であると思います。男女関係なく、全てこの地で生まれ、この地で育つものは鬼の裔なんだ、そのことにプライドを持って生きていこう、そういう思いに満ちた俳句です。



＜個人賞＞

最優秀賞（文部科学大臣賞）

草いきれ吸って私は鬼の裔　岩手県立水沢高等学校　阿部なつみ

〈優秀賞〉

秋刀魚焼く地球があって僕がいて　名古屋高等学校Ｂ　堀内晴斗

いつときは日傘を畳む墓の前　開成高等学校　佐々木拓実

地下鉄が良夜へ顔をだすところ　立教池袋高等学校　辻村幸多

絵日傘の人のきれいな鼻濁音　開成高等学校　鈴木丈太朗

露草に十年先の来てをりぬ　開成高等学校　谷田部慶

塾を出て良夜の中の母に寄る　愛知県立幸田高等学校　角田光

産毛より逞しき蚊の脚である　山口県立徳山高等学校Ａ　山本涼香

龍淵に潜む眼鏡に小さき螺子　海城高等学校Ａ　南幸佑

くちびるに雲呑触れて龍淵に　北海道旭川東高等学校　高井彩香

草いきれプロテクターに誰かの血　名古屋高等学校Ｂ　服部亮汰

七月や兄にピアスの増えてをり　青森県立弘前高等学校　村上綾

七月や雲なき空が鳥鍛へ　開成高等学校　荒川理生

朝の駅ゼラチン質の七月です　愛媛県立今治西高等学校　伯方分校　阿部縁

〈入選〉

七月や空のまぶしき洞の口　山形県立山形東高等学校　渡辺悠月

七月や気泡とともに水面へ　栃木県立宇都宮中央女子・中央高等学校　古波藏ほのか

七月の背中や長きバスタオル　群馬県立高崎高等学校　山岸春貴

昼の蚊や花瓶の水を入れ替へて　海城高等学校Ａ　尾崎貫太

四十雀息を継ぐ間のわずかなる　海城高等学校Ｂ　蒋騰

天を撃つごとく開きぬ黒日傘　立教池袋高等学校　望月陸玖

竜淵に潜み王手の指離す　神奈川県立横浜翠嵐高等学校　新堀笙子

半地下の石膏像の良夜かな　慶應義塾湘南藤沢高等部　南部優実

伊予弁の語尾のあかるき良夜かな　石川県立金沢泉丘高等学校　姉川創哉

竜淵に潜む深夜のにわか雨　愛知県立豊橋西高等学校　服部孝太

なんとなく叩いた足に蚊は死んで　桜花学園高等学校　棚橋優子

たこ焼きの舟を受け取る日傘かな　名古屋高等学校Ａ　三浦英雄

ビスケット君と良夜の漱石論　鷺谷高等学校　福富琴梨

竜淵に潜む石榴は粒を吐く　洛南高等学校　冨嶋大晃

星ばしも一瞬の生秋刀魚の目　岡山県立岡山朝日高等学校　横田晴華

廃校の土俵に上がる良夜かな　愛媛県立今治西高等学校　田頭幸太郎

火ぶくれの地球の只中に日傘　愛媛県立今治西高等学校伯方分校　馬場叶羽

七月を伝えるための俺の手話　愛媛県立松山東高等学校　篠原孝太

炎天に五十万個の肝小葉　新田青雲中等教育学校　越智優介

ほぐしつつ秋刀魚の焦げの少し金　興南高等学校Ａ　知名凛音

俳句を愛する仲間と共に…

第26回大会へ

＜お問い合わせ先＞

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 事務局
〒790-0814　愛媛県松山市柳井町２丁目２１－３
TEL：089-943-1512（平日13：00～17：00）
E-mail　info@haikukoushien.com

又は　松山市坂の上の雲まちづくり部　文化・ことば課
〒790-8571　愛媛県松山市二番町四丁目７－２
TEL 089-948-6952　FAX 089-934-1913
E-mail bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp